

平成29年度実施分 評価コメント(市民活動助成事業・スタート助成)

NO	事業名	団体名	評価コメント
1	笑劇で施設利用高齢者を元気にする事業	浅間台笑劇研究部	<p>【会長】 ・活動している人たちが楽しく生き生きとしている様子が感じられる。これが活動を続ける源泉の一つで、感心します。 ・活動を応援してくれる人たちや施設を増やして、その人たちや施設の協力で活動の足腰を強くするように心がけてください。</p> <p>【委員】 社会教育の一環からボランティアにつながっているという理想的な活動形態である。「高齢者を元気にする」ことに、「施設利用者」に喜びを与えることは素晴らしい。この活動を持続可能な発展へとつなげるためには、県生涯大学校37期生(地域活動学部)だけでなく、その後輩等をリクルートすることが望まれよう。「笑顔」は社会の宝である。今後も当該活動を全市に広げていってほしい。</p> <p>【委員】 大変オリジナリティがあり、活性化している事業だと思います。課題としては、 ①市内の多くの高齢施設を廻って、上演していただきたい。広がりが必要だと思います。 ②継続できるスタッフ作りが大切だと思います。</p> <p>【委員】 多くの高齢者施設もあり、見る方たちも巻き込んでの手法は、高齢者への応援・サポートとして喜ばれることでしょう。</p> <p>【委員】 千葉県生涯大学校を卒業してから、どのように地域で活かされるのかという課題を聞きますが、OB同士チームワークがよくて楽しさが伝わる活動であり、期待しております。活動を継続することばかりに着目せずに、ご自分たちの元気を長続きさせてください。</p> <p>【委員】 芸人ではありませんが、みんなの前で演技をして、それが受けた時の快感を味わってみたいという欲望は、多くの方が持っているのではないのでしょうか。そしてそれが社会に貢献するのであれば申し分ないと思います。この団体の活動は、まさに人を楽しませ、自分たちも大いに楽しむ活動の典型と言ってよいでしょう。勿論その為の努力は大変なものと思います。年11回の公演をこなしながら、新しい脚本を考え、道具や衣装を作り、稽古もするというそれこそ全員で目いっぱい取り組まなければ出来ない活動です。でもスタッフの皆様がそんな苦労も十分楽しみながらやっている姿が想像できます。自己評価が全て「5」であることも頷けます。</p> <p>【委員】 ・数多くの公演ご苦労様です。新しい企画で、観客?にも大受けだったことでしょう、今後も笑いの宅配に期待します。 ・今後は更に範囲を広げ、年1回でも劇場での公開を期待します。芸の域が広がることと思います。 ・その際、カンパでもいいから公演料を検討してみたらいかがでしょう。将来の独立につながるものと考えます。</p> <p>【委員】 この3年で基礎的な足場をかため、ぜひ継続していってください。</p> <p>【委員】 活動されている方々の充実感が素晴らしい。身の丈にあった活動内容であり、好感がもてる。活動の拡大により機材の置き場などの問題が浮上しているが、工夫をして乗り切っていただきたい。ただ、移動や搬送など個人負担が大きくなってものもあるのでは、併せて解決できればと思われる。</p>

平成29年度実施分 評価コメント(市民活動助成事業・スタート助成)

NO	事業名	団体名	評価コメント
2	まつどでつながるママちから事業	まつど一時保育ネットワーク	<p>【会長】 ・親子が参加する活動(親子で遊ぼう、みんなで行こう)を計画どおりに実行し、事業を適正に進行管理したと評価します。 ・参加した親の満足度が高い内容でした。それを手掛かりに活動の次の担い手を参加者から見つけることを意識してください。</p> <p>【委員】 子育ての悩みなどを抱えた子育て世代の方は多い。彼ら彼女らをつなごうという当該事業の意義は大きい。「子育て環境日本一」の本市の子育て環境にも資する重要な活動であり、今後期待するものは多い。その際、他の子育て支援団体、保育等の団体とつながり、この力をますます高めてほしい。子育て世代の方々のお子さんの一時保育(団体の“強み”)を全面的に出すのも良いだろう。</p> <p>【委員】 子育てのネットワーク事業として、成果をあげている点が優れています。課題として、 ①松戸市の事業を利用している点は良いがオリジナル事業作りも大切。 ②参加者が限定しがちにあることをいかに、広げていけるかが大切です。(リピータ率20組 10組)</p> <p>【委員】 この団体事業を多くの市民へ周知されることを願います。幼子を持つ親たちが心豊かに、さらに交流へと発展できることが期待できます。家庭への大きな応援体制へとつながっていくことと思います。</p> <p>【委員】 幼児を抱えた親子にとって、いい時間を提供できたことがわかりました。このようなサービスを提供しながらも、参加者の自主性に働きかけること、ママたちの自主的な交流のきっかけをつくることにも気を配ることができればいいと思います。孤立を防ぐには、話せる友人がいること、知り合いがいること等がポイントかと思います。</p> <p>【委員】 活動報告を見ますと、多彩な活動内容に感心します。そしてどの事業も親子で楽しむことを目指し、実績を残しているようです。親として子供とどう過ごすかを考えても、出来ることには限度があります。そんな時親子でこの会が企画したイベントに参加するだけで色々な体験が出来、多くの事を学ぶことが出来そうです。この内容であれば自己評価はもう少し高くてもよいのではと思いますが、今回の活動を糧にして更なるバージョンアップを目指していただきたいと思います。</p> <p>【委員】 ・かなり活発な活動頭が下がります。 ・市の施設の有効利用は結構なことと存じます。 ・リピータが多いことは活動が受け入れられていることです、今後はそれらの中から賛同者後継者につながるといいですね。</p> <p>【委員】 子育て中に孤独になりやすいママ、けっこういらっしゃいます。スタッフを育て、どんどん輪を広げていってください。</p> <p>【委員】 リピートの割合が高く非常に活発で、口コミなどでの広がりにも好感が持てる。限られた地域での活動になりがちなので全市的な広がりや周知の方法にも今後期待する。</p>

平成29年度実施分 評価コメント(市民活動助成事業・スタート助成)

NO	事業名	団体名	評価コメント
3	子どもと高齢者の交流事業	子どもの未来を考える会	<p>【会長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あそびのプログラムが子どもたちにとって楽しみの時間を生み出したと思います。 ・もう一つの主役である高齢者の存在感が薄い心証でした。高齢者の活躍を「見える化」して、この活動の特色をもっと訴求してください。 <p>【委員】</p> <p>世代間交流が本来の目的であるが、子どもの貧困解決にも有意であることがわかった。高齢者に活力を与え、子どもたちに彼らの知恵と経験を継承させるすばらしい活動である。地域でこのような活動に取り組むことの意義が大きい。さらに、学校(教育委員会)の協力も得ることができたのも、市の助成事業になったからではないだろうか？この助成期間を活かし、地域の信頼を持って、これからも本団体の活動を継続してほしい。また、地域(町会、自治会)、民生委員の方々ともいっそうの連携を望む。</p> <p>【委員】</p> <p>すばらしい事業ですが、課題としては、</p> <p>①スタッフ不足→改善策 子どもと高齢者のつながりの仕かけを、どうするかのかを、他団体との連携を上手くしていくことが大切だと思います。</p> <p>【委員】</p> <p>大事なことは、子どもと高齢者など多世代の交流です。今後も、この企画をぜひ継続して、他団体、他地域へ波及していくことを希望します。</p> <p>【委員】</p> <p>地域の状況を把握されていることが、適切なプログラム開発につながっていると思いました。運営に協力する仲間を増やすことが課題のようですが、あきらめずに地域で声かけ、また、メンバー募集チラシなども活用してはどうでしょうか。</p> <p>【委員】</p> <p>活動の内容は8月(2回)、3月の遊びの広場の開催と6月、9月、11月、2月の講演会の開催を通じて子供と大人(高齢者)の交流を図り、社会がより豊かになることを目指しているようです。それぞれの活動には念入りな準備をして取り組んでいる為に、十分な結果が出ているようです。自己評価も予算以外は高いのは、スタッフの皆様が自分達の活動に手ごたえを感じている為ではないかと思います。このような活動は如何に周りの人たちを巻き込んでいくのかが鍵になると思いますので、今後も体験(遊びの広場)と教育(講演会)の両輪で進んでいただければ、より良い社会の実現に繋がるものと思います。</p> <p>【委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊びの広場と講演会事業、準備を含めると大変な作業量ですね。無理をしないで継続を計ってください。 ・遊びの広場に集まった子供たちが、将来お手伝いできるようになるといいですね。子供たちにも少しずつ簡単なお手伝いをさせることで、繋がりができていくのではないのでしょうか。 ・講師については、会員が勉強して少しずつ引き継ぐのもいいのではないのでしょうか。 <p>【委員】</p> <p>10くらいの団体が連動しているのは、とても頼もしいですね。</p> <p>【委員】</p> <p>子供の居場所と高齢者の居場所を良好な接点をもち実現している。地域密着の取り組みであり非常にシンプルである。</p>

平成29年度実施分 評価コメント(市民活動助成事業・スタート助成)

NO	事業名	団体名	評価コメント
4	なつやすみアートひろば事業	NPO法人子どもとまつど	<p>【会長】 ・実行委員会方式は参加団体の都合で力が却って分散してしまう場合がありますが、この事業では参加団体の力をまとめながら実行委員会をよくマネジメントしたと評価します。 ・価値ある活動と安心できる体制に拠り、これから定常的に企業スポンサーがつく可能性が高いと思います。</p> <p>【委員】 子育てをアート、すなわち文化の力で推進する試みは評価できる。当該団体の活動は、今回、限られた場所となったと思うが、いくつかの市内団体と連携されていることはこれからの市民活動に与えるインパクトは大きい。すでに行政担当課とはつながっていると考えられるので、さらに行政、NPO等子ども団体との紐帯となって、本市の子育て支援の要になってほしい。</p> <p>【委員】 アートを、メインにしている点が、成果物もある(持ち帰れることがメリット)ので、とても良い事業です。課題は、次の続けていくために、どう連携、協働するかが大切です。</p> <p>【委員】 前身が「子ども劇場」で、実績ある団体です。芸術・文化を子どもたちへ、との主旨は貴重だと思います。</p> <p>【委員】 矢切地区の子ども施設の不足が課題であることを、プレゼンで知りました。まだまだ、知らされていない情報もあると思いますので、子どもの育ちを支援する団体として課題を明らかにして取り組みを広げていただくように期待しています。</p> <p>【委員】 子供時代の体験はその子に多大な影響を与えることがあります。特にアートは、鑑賞も大事ですが自身で関わることでより深く理解し、楽しさも実感できるのではないのでしょうか。そんな場を多くの子供達に提供するのがこの活動です。実施に向けての十分な準備や打ち合せは、参加者454人という結果に表れています。このノウハウを生かし、もう1回開催できれば喜ぶ子供の数も倍になると思うのですが、望みすぎでしょうか。</p> <p>【委員】 ・夏休みを中心に限定した活動。このように限定した活動を行って行けば将来周囲にも認知してもらえるでしょう。 ・そうなれば、地域にも認識されより大きな活動に展開できると思います。そして、子供たちが成長し、後継者もできるようになるのではないのでしょうか。</p> <p>【委員】 探せば地域にボランティアアーティストもいるはずですが、今後の成果に、大きく期待します。</p> <p>【委員】 複数の団体が協力しあって運営しており、理想的である。企業の協賛や中高生のボランティアなどの広がりも期待が大きい。夏休み以外の実施も企画してもらいたい。</p>

平成29年度実施分 評価コメント(市民活動助成事業・スタート助成)

NO	事業名	団体名	評価コメント
5	パトロールランニング普及事業	パトラン松戸	<p>【会長】 ・新しい活動形態のパトランに対する市民の認知度が高まってきた可能性を感じる。パトランができること、町会・自治会で協力できること、警察と連携することなどを整理しながら、この活動がさらに市民へ定着していくことを期待します。</p> <p>【委員】 防犯を担う団体として、期待できる。「ワンワンパトロール」などをはじめ、多種多様なパトロールから防犯へとつなぐ、多角的な防犯手段の1つである。健康推進にも資する興味深い取り組みが、本市でも行われていることは今後につながる事がわかる。これからは若年層へとますますメンバーを増やし、子どもたちへもリクルートできるのが良いのではないだろうか。</p> <p>【委員】 パトランの広がりが、すごい点(参加者、スタッフの広がり)が、報告書に出ている。スタッフの防犯の勉強をどうやっているのか、課題としてほしい。(勉強して高めて行ってほしい。)</p> <p>【委員】 防犯・見守りを主とするこの事業は重要です。市内では、それぞれ地域活動も活発ですが、夜間実施は夏休みに限られているようです。楽しみながらこの活動に多くの方が参加されると、街の人たちも元気をもらえそうです。</p> <p>【委員】 ランニングをとおして町を見守る人が増えることは、市民としても安心につながります。しかも若い元気な方々の参加があり、心強いです。地域で開催されるさまざまなイベントなどでも機会をつくり、さらなる周知に期待します。</p> <p>【委員】 最近児童の日常が危険な環境になりつつあります。周りの大人達の監視の目が望まれるところですが、それをかいくぐって事件が発生してしまいます。そんな中で最近増加傾向にあるランニング愛好者達が、ランニングをしながら街中をパトロールするというユニークな活動がパトランです。パトランと書いた赤いTシャツを着たグループが街の中を見守りながら走るにより、防犯活動に繋がっていくことは想像できます。活動も月に2~3日のランニングがあり、メンバーも目標数50人より多めの94人まで増えた様です。まだまだ、市民権を得る手前の感がありますが、この活動を進めることにより、街の中でパトランを見かける光景が一般的になれば、「住みよい安全な街、松戸」のイメージが全国に広がるのではないのでしょうか。</p> <p>【委員】 ・活動実施回数が多いのには驚きました。ランニングが目的になれば不思議ではないですが。 ・パトロールの位置づけをどうするかということが課題になるかと存じます。 ・どの時間帯がパトロールに有効か、その辺も検討していくといいのではないのでしょうか。</p> <p>【委員】 NY地下鉄の、ガーディアン・エンジェルスのようなですね。全国展開も嬉しい。期待します。</p> <p>【委員】 ユニークな発想であり、気軽に参加できる環境が望ましい。個々の状況に応じた参加や取り組みが可能であり、活動の広がりに期待する。</p>

平成29年度実施分 評価コメント(市民活動助成事業・スタート助成)

NO	事業名	団体名	評価コメント
6	「認知症に備える」為の啓発活動事業	介護・認知症の家族と歩む会・松戸	<p>【会長】 ・認知症を学ぶことに係る家族の悩み(他者に知られたくないなど)とどう向き合うのかが、当事者に活動が浸透する壁になっていると思います。 ・社会福祉協議会や市役所、ほかの団体などの力を活用し、その壁を乗り越える努力を期待します。</p> <p>【委員】 「認知症」の知識・情報の提供がメインである当該事業は、この後、個人ボランティアの養成・育成へとつながっていくとのことである。そのため、子どもをはじめとした若者世代への呼びかけが重要であろう。そのために、現在、行われている大学生への提案に加え、高校あたりまで年齢層を下げていくことが望まれよう。ますます所管課との連携を深め、地域との連携・協働へと発展させてほしい。</p> <p>【委員】 すばらしい事業ですね。課題として、 ①個別相談が昨年ほとんどだった。→今年は「カフェ方式」で手づくり講演会方式にしよう。 ②オープンな、交流カフェ形式に期待します。</p> <p>【委員】 認知症の人の増加が想定されている状況の中、本人も含めての家族などが、気軽に相談できる場所があることが嬉しいことです。今後の「地域パートナー」養成を期待します。</p> <p>【委員】 団体というより個人での日々の活動がこれだけの実績となっていることに敬服します。経験者だからこその細やかな配慮ある言葉を感じました。市の関係課にこの活動を知っていただき、関わる専門職研修などで活用されることがいいのではないかと思います。</p> <p>【委員】 私にとって一番怖い病気といえば「認知症」です。その怖さはかかった本人よりも周りの人(主に家族)に多大な負担が掛かるところです。現在有効な薬も無く、予防法も絶対的なものは定まっていません。一度かかれば悪くなることはあっても良くなることはほとんど期待できない病気です。そのような状況の中で、少しでも本人及び介護者と向き合っていくこの会の活動には大きな期待が持てます。勉強会、相談会、おしゃべり広場など多彩な活動を数多く実施している状況は十分評価できます。報告会で述べていたように、参加する方が、なるべく他人に分からないように行動する状況は少しでも変えていかなければなりません。その為にも、この会の活動が欠かせないのではないのでしょうか。</p> <p>【委員】 ・相談会や交流・おしゃべり会年間69回とは驚きです。 ・皆様の負担にならないよう継続して活動ください。 ・認知症とはなかなか人前では言いにくいことですから、これらの発掘は並みの努力ではありません。 ・これからも継続を期待します。</p> <p>【委員】 切実に必要な活動を感じます。まいた種が芽吹きますように。公金を離れた後も継続できるよう、今から備えてください。</p> <p>【委員】 介護に携わっている家族などの相談役として意義深い活動である。一般論ではなく個々のケースに則した対応が求められており、社会環境に浸透するように活動を継続していただきたい。オレンジリングの参加者も増えており、活動の定着に期待する。</p>

平成29年度実施分 評価コメント(市民活動助成事業・スタート助成)

NO	事業名	団体名	評価コメント
7	個々の家族構成・生活スタイルに合った「我が家の災害マニュアル」を作ろう事業	NPO法人MamaCan	<p>【会長】 ・防災カレッジでは防災に係る学びがあったものの、この事業の目的に係る「我が家の防災マニュアル」を具体的に作成するまでに至らず、残念です。 ・最終的な完成は自宅での作業となっても、防災カレッジの中で下書きすれば、より身に付く内容になったのではと思います。活動の改善を期待します。</p> <p>【委員】 「共(協)助」よりも、「自助」に焦点をあてた防災の一手法の確立を目指した興味を惹く事業である。元来、子育て関連支援のNPOでいらっしゃるの、その視点は貴重なものであろう。すでに、流山市でマニュアルができあがっており、それを活用することであるが、著作権の問題がクリアできるのであれば、素晴らしいマニュアルが出来るものと考え。ただし、松戸の状況を踏まえ、参加方式でマニュアルを作るならば、本市の参加にも資するため、重要な事業であるといえよう。</p> <p>【委員】 防災の視点から、連携(つなぐ)について、積極的にやっていることが、よくわかる報告でした。課題として、「我が家の災害マニュアル」を実際にどれだけ出来たのか、その経験の共有ワークショップ形式が大切。</p> <p>【委員】 市でも防災講演が実施され、社会福祉協議会でも防災、災害対策などの講座等、行ってはいますが、各自が真剣に取り組むことが重要で、その機会の提供者となって頂きたいと思います。市内での防災関連団体との連携がみえてきてよかったと思います。</p> <p>【委員】 「災害マニュアル」として配布された資料は、少々物足りないものと感じます。流山市の既存のものを参考に、松戸市バージョンを検討してはどうでしょうか。</p> <p>【委員】 年々大きな地震災害が発生する確率は高まるばかりです。それに向けて各地域で自主防災組織が結成され、活発に活動をしています。そんな中でこの会は、防災カレッジを通じて個々の家族の防災意識を高めていく活動を実施しています。特に小さなお子様のいる家庭では避難の仕方や、避難所の過ごし方など、気になる所がいっぱいあるのではないかと思います。今回3か所の地域でそれぞれ2回ずつ開催された防災カレッジですが、参加した家族にとってはとても有意義な時間を過ごすことが出来たのではないのでしょうか。防災活動の難しいところは、「その日」まで同じモチベーションで継続していくことです。息切れしないように、多少肩の力を抜いて頑張ってください。</p> <p>【委員】 ・災害マニュアルなのか、防災マニュアルなのか難しいところがあります。 ・私の所では「子供と考える防災」という冊子を作って配布しています。防災は、大人だけでなく、ご提案のように家族で考えることが重要です。 ・ぜひきちんとした防災に関するマニュアルの作成を期待します。</p> <p>【委員】 3名で背負い込まず、他団体とも連携する手もあります。視野を広げてください、きっと上手くいきます。</p> <p>【委員】 身近な防災活動として、各家庭での備えは重要であり効果が期待できる。各家庭での備え、地域での備えと複合させてレベルの異なるものを有機的に組み合わせ、備えることが肝要である。ただ、この取り組みへの参加者が少ないので、内容の重要性などのPR方法を工夫するなどして、参加しやすい活動を考えることも必要である。</p>

平成29年度実施分 評価コメント(市民活動助成事業・スタート助成)

NO	事業名	団体名	評価コメント
8	公共サインの改善で松戸の街並みをレベルアップする事業	都市環境デザイン学研究室 公共サイン研究会	<p>【会長】 ・活動成果の指標となる「市民へ広く共有する」ことについて、昨年度に比べて一歩進んだと思います。 ・他の2団体と連携することができたのは、研究会の活動基盤を強めていくと思います。他団体の力を上手に借りる経験を今後とも積んでください。</p> <p>【委員】 都市交通、公共交通は今後その役割は大きくなる。その中で、「公共サイン」シグナルなどの重要なものは多い。H30年度は協働事業になることも、当該事業の果たす役割への期待がわかる。これからの当該事業の広がりを大いに期待したい。</p> <p>【委員】 公共サインについて、調査研究だけでなく、市民とのつながり、協働の広がりを期待します。課題として、公共サイン(パラリンピック対応、英語版)を作成し、賞までとっている県立松戸国際高との連携とか学びあいも大切。</p> <p>【委員】 状況判断で、目的を変更したことの意義は大きいと思います。今後、行政の街づくりと一体となる活動へ進展して欲しいと思います。今後の協働事業の取り組みを期待します。</p> <p>【委員】 この事業も2年間を終え、いよいよ3年目に向かっていきます。今回の報告で注目をしたのは、活動をする目的が変わったことです。当初は松戸に於ける公共サインの検討が活動目的で、最終着地点として、松戸らしいデザインガイドの提案だったと思うのですが、様々な活動を経験する中で、公共サインを含めた景観・環境ということに、多くの市民がより一層関心を持ってもらうことを目指す方向にシフトした感じがします。当初の目的達成も大事ですが、活動をしていく中で、自分達にとって何が大事なものであるかに気付くことも大切なことです。あくまでも公共サインというテーマを離れることなく、更なる活動を期待します。</p> <p>【委員】 ・学生の単なる研究で終わらせたくありません。 ・このような活動は、実際に市へ提案し公共サインを変えていくものでなければ成果とは言えません。是非市の担当部署を巻き込んで、実現されることを望みます。 ・市だけでなく、県(東葛事務所が近くにある)、国(これもすぐ近くにある、首都国道事務所)へも働きかけてください。</p> <p>【委員】 ぜひ継続して欲しいものです。成果を期待します。</p> <p>【委員】 いままでの活動が研究センターであったが、実際の街での実現に向け取り組みを始めたことは評価できる。自治体や企業をはじめ各種団体とともに実現する方策を視野に入れて取り組んでいただきたい。</p>

平成29年度実施分 評価コメント(市民活動助成事業・スタート助成)

NO	事業名	団体名	評価コメント
9	音楽活動によるまちの活性化事業	松戸合唱まちづくり同好会	<p>【会長】 ・団体の代表やリーダーは助成金に熱心だけれど、他の会員は受け身の姿勢という団体が見受けられる中で、貴団体では助成金を使って活動することに対する会員一人一人の姿勢が積極的で嬉しいです。 ・舞台の引き合いがあるのは、活動の品質が良い証だと思います。</p> <p>【委員】 県の社会教育「(生涯学習)意義による」から、社会福祉の活動に発展した当該団体は、市の財産の一つであろう。楽しさを追求しながら、それを失うことなく、無理なく団体活動を継続していただきたいと思う。今後、メンバーが加齢し、活動が出来なくなる可能性もあろう。その際に、いかに次の世代にこの活動を継続できるかが重要である。部員の楽しい相互・親睦活動をより活発にし、住みたい、住みやすいまち、松戸をつくってほしい。</p> <p>【委員】 ボランティア活動として、①地域に根ざした活動であること②音楽で、人と人の心をつなぐ活動であること③施設や音楽コンサートの場を広げている点が、優れていると思います。</p> <p>【委員】 音楽活動で施設を回り、多くの方を元気づける活動が、自らの能力アップにもつながり、良い事ですね。「相手に元気と勇気を与え、また今後は感動を与えたい」との表現だけが気にかかります。このような事業では、演奏者と聞き手の双方が、互いの状況を知り、互いの特徴や良い点を理解し、さらに双方が影響し合っ楽しむことになるのではないのでしょうか。</p> <p>【委員】 千葉県生涯大学校のOBグループでの地域活動として出発して、これだけの施設に歌声を届けられたこと、手ごたえが励みになるでしょう。ピアノ演奏ができる方を複数名募集し、継続できるようにしてはいかがでしょうか。</p> <p>【委員】 この会の活動の素晴らしいところは、活動日数の多いところです。年間25ヶ所の施設を訪問し、公の場で3回コンサートを開催しています。それを実行する為には日頃の練習が不可欠であることを考えますと、スタッフの皆様の底知れないパワーを感じます。施設における演奏会ではバルンアートなども導入し、参加した人たちが飽きない工夫もされているようです。歌の良いところは一緒になって歌うことが出来、そこから昔のことなどを思い出すことで脳のトレーニングにも繋がる所です。報告書にもありましたが、その努力の甲斐があつて知名度が上がり、活躍の場がどんどん広がっているようです。それに伴いスタッフの負担は増えていくと思いますが、皆様のパワーで更なる進化を遂げていただくことを期待します。</p> <p>【委員】 ・いいですね、趣味と実益ではありませんが、好きな歌は人に聞いてもらいたいです。それが役に立っているわけです。 ・公演も実質28回素晴らしいです。ホールでは、カンパ(講演料)を頂くなどの自主自立の努力もしてはいかがでしょうか。</p> <p>【委員】 立場は違っても、共助することは大切だと思います。互いの成長のため、がんばって下さい。</p> <p>【委員】 活動内容がシンプルであり、参加し易く継続できる取り組みである。今後、活動の場を広げるなどして充実を図られたい。ただ、趣味のサークル活動に近い面もあり内容とのバランスを維持する必要がある。</p>

平成29年度実施分 評価コメント(市民活動助成事業・スタート助成)

NO	事業名	団体名	評価コメント
10	「自炊者の常用レシピ-母の味-」を広く市民に配布する事業	数値調理会	<p>【会長】 ・成果品であるレシピ集は、口頭の説明だと伝わりにくい活動の意義と目標を「見える化」「伝える化」したものだとして評価します。 ・調理の省力化で日常的に長続きできるレシピに軸足を置いた内容に感心します。</p> <p>【委員】 健康福祉の指導にどれくらい貢献できているかという指数は難しい。食を中心とした市民活動の場合、満足度、地域貢献度などのいくつかのポイントがある。健康福祉課(所管)と協働し、男性の“予防”医学的観点からぜひ本市の健康福祉に貢献してほしい。また、男性が松戸において急激に60歳以上が減少していることも広(公)報し、その意義を広めてもらいたい。</p> <p>【委員】 団体が、がんばっている姿が、大変良くわかるレシピ集の成果がすぐれています。課題これからの広がり ①レシピ募集で盛り上げる。 ②男女共同参画キッチンイベントを広げて行ってください。期待しています。</p> <p>【委員】 本来、女性も男性も、調理ができることが、生活できる条件だとは思いますが。今後、配布した「レシピ集」の活用などについての意見等を知ることが出来れば、次の展開につながるか等、興味深いことです。</p> <p>【委員】 出来上がったレシピ集が手作り感があり、昭和的な雰囲気が高齢者には使いやすいのではないかと思います。内容も簡単な調理で作り置きができた、栄養的にも優れているので、多くの方に活用していただきたいと思えます。私もすぐになすのトンギリ炒めと胡瓜もみをつくりました。美味しかったです。</p> <p>【委員】 現在の超高齢化社会において、大きな問題になっているのが、一人住まい(特に男性)の食事問題でしょう。一般的には外食なりケータリングに頼るケースが多いと思えますが、栄養学的、経済的な面で出来るだけ自炊で生活できる形が望ましいと思えます。そんな中で、強い味方として、今回のレシピが考案されました。男性向けのレシピ本は多数出版されていますが、このレシピは、簡単に作れて、派手な料理ではなく、食の基本となり、健康面にも配慮した優れた内容になっています。又、多くの方にこのレシピに興味を持ってもらう為の普及活動も実施している点も評価出来ます。可能ならば、補遺という形でも良いので続編が出ることを期待しています。</p> <p>【委員】 ・面白い「男の料理」ですね。「母の味」ではなく、男の趣味として堂々と活動したら如何？ ・意外と男に受けるかも。頂いたレシピ、是非試してみたいです。</p> <p>【委員】 常用レシピ完成おめでとうございます。食事の支度が、「エサ」づくりにならないのは、素晴らしいことですね。</p> <p>【委員】 食という切り口での活動は好感があり、誰もが毎日、健康で健やかに暮らしていくためには欠かせないことで、工夫も重要である。また、活動の参加者が限定的であり、レシピの配布にも工夫が必要と思われる。ネットでのレシピアプリがヒットしているように可能性は大きい。</p>